

いたばし 環境管理ニュース

発行:板橋環境管理研究会
2017年2月1日 〒173-0005 板橋区仲宿54番10号
第389号 電話:03-3962-0131 FAX:03-3962-0133
(板橋区公式ホームページからも閲覧可能)

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/004/004325.html

今号のトピックス

- 1 板橋環境管理研究会見学研修会
- 2 いたばしエコ活動推進協議会会員募集
- 3 平成28年度 白子川・石神井川生物調査の概要

板橋環境管理研究会 見学研修会

気象庁気象研究所 設備見学会

今年度、板橋環境管理研究会では、茨城県つくば市の気象庁気象研究所の施設見学会を実施します。

気象研究所は、気象庁に求められる諸課題に対して的確にこたえられるよう、気象業務への実用的技術の提供を目指し、台風・集中豪雨等対策、地震・火山・津波対策及び気候変動・地球環境対策の強化に資する研究を実施しています。

今般、気象研究所の気候研究部及び環境・応用気象研究部において、スーパーコンピューターを利用し、地球温暖化のシステムや今後の世界の気候等をご説明いただき、各施設の見学を行います。

当日の実験・開発状況により、見学コースや見学時間は一部変更・追加等もあります。

※本研修会は板橋環境管理研究会会員の方を対象としています。

1. 日程

平成29年3月7日(火) 13:30~15:00(予定)

2. 集合

板橋産連会館 9時50分集合

※詳細はご参加いただく方にご案内させていただきます。

3. 見学先

気象庁気象研究所(茨城県つくば市長峰1-1)

4. 費用

無料

5. 定員

30人(先着順)

6. 締切日

2月28日(火)までにお申し込みください

7. 申込・問合せ

板橋環境管理研究会 渡邊

電話:3962-0131 FAX:3962-0133



昨年の見学会の様子

いたばしエコ活動推進協議会 会員募集

いたばしエコ活動推進協議会は、区民・団体・事業者・学校と行政がそれぞれの立場から連携・協働し、区内の環境に関する様々な活動を企画・提案・実践している組織です。

■ イベント企画・提案

区主催の環境イベント「環境なんでも見本市」や「エコライフフェア」の企画と運営サポートをしています。イベントが単なるお祭りではなく、日々の暮らしのなかに「環境配慮」の意識や工夫を広める機会として、有意義なイベントとなるよう工夫を重ねています。



■ 実践（活動部会等）

具体的なプロジェクトは5つの活動部会（温暖化防止、環境啓発、環境まちづくり、自然環境、再資源）が実践しています。協議会員（区民）主導で、ヒートアイランド対策、CO₂測定、いたばし環境カルタの制作、荒川河川敷清掃、喫煙マナーアップ、落書き消去活動、緑のマップ活動などを継続的に実践しています。



■ 定例会、その他ミーティング

月1回（原則第4木曜日の夜）に開催している定例会では、会の意思決定、活動部会の報告などの情報共有を行っています。そのほか活動部会の打ち合わせ、イベントの企画や方針を決定する委員会など、それぞれ月1回程度行われ、活発な議論が交わされています。



■ 広報・PR

環境イベント以外でも、区内の様々なイベントに出展し、協議会の活動紹介やアクション9*（平成28年3月改定）の普及などを行っています。

*アクション9（CO₂排出量削減のために日常生活でできる具体的なアクション）

1. 冷暖房の設定温度はひかえめにしよう（夏は28℃、冬は20℃が目安）
2. 見てないテレビはこまめに電源を切ろう
3. 照明はこまめに消し、LEDランプを選ぼう
4. 冷蔵庫の温度は「強」から「中」にしよう
5. 調理の火力をこまめに調節しよう
6. 水道はこまめに止めよう
7. お風呂は間をあけずに入浴しよう
8. 公共交通、自転車、徒歩で移動しよう
9. 新しいライフスタイルに取り組もう
（エコバッグを持ち歩こう、夏は涼しい・冬は暖かい服装をしようなど）

※環境イベント等の詳しい活動については、下記ホームページをご覧ください。

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/044/044598.html

☆ 新規会員・協力事業者 随時募集中 ☆

事業者としての参加・協力、イベントへの出展者としての参加…いずれも随時募集しています。詳しくは、下記まで、お気軽にお問い合わせください。

■ 問合せ

いたばしエコ活動推進協議会 事務局（環境戦略担当課 環境協働グループ）
電話：3579-2233 Eメール：s-kkyodo@city.itabashi.tokyo.jp

平成28年度 白子川・石神井川生物調査の概要

1. 調査地点及び調査実施日

| | 河川名 | 調査地点名 | 調査実施日 |
|-----|------|---------|------------------------|
| (1) | 白子川 | 東埼橋上流付近 | 平成28年7月26日 13:00～14:30 |
| (2) | | 白藤橋付近 | 平成28年7月26日 9:00～11:30 |
| (3) | 石神井川 | 久保田橋付近 | 平成28年7月27日 9:00～11:30 |
| (4) | | 緑橋付近 | 平成28年7月27日 13:00～14:30 |

2. 調査方法

各調査地点において投網、タモ網(手網)及びカゴ網を用いて、魚類、底生動物を採集しました。石神井川では、その他に定置網も設置して魚類を採集しました。

採集した個体は現地で種の同定、個体の計測、写真撮影を行い、再放流しました。現地での同定が困難な個体については、10%ホルマリンで固定して持ち帰り、実体顕微鏡下で同定しました。底生動物については、肉眼でみえる個体を採集対象としました。



投網



タモ網



カゴ網



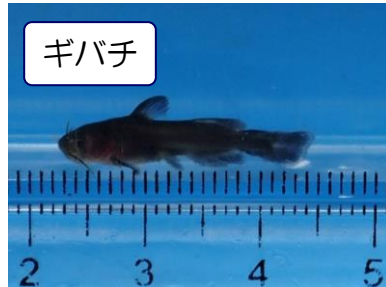
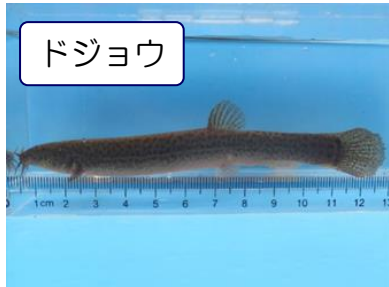
カゴ網

3. 調査結果

① 魚類調査結果

4地点全体で、コイ、アブラハヤ、ドジョウ、アユ、スミウキゴリなど、5目9科17種の魚類が確認されました。

このうち、「環境省RL(2015)」に該当する種としてはニホンウナギ、ギバチ、ドジョウが、「レッドデータブック東京2013」に該当する種としては、ギバチ、アブラハヤ、ニホンウナギ、ナマズ、ヌマチチブがあげられます。特定外来生物に該当する種は確認されませんでした。



② 底生動物調査結果

4地点全体で、シマイシビル、カワリヌマエビ属、フロリダマミズヨコエビ、アメンボ科など、6綱15目22科25種の底生動物が確認されました。

確認種で「環境省RL(2015)」に該当している種はありませんが、スジエビとモクズガニが「レッドデータブック東京2013」に該当しています。



4. 調査結果のまとめ

魚類の確認状況について経年的にみると、各地点ともほぼ同様な種が確認されており、特に出現種が多くなったり、少なくなっているというような傾向を持つ地点はありませんでした。

各調査地点とも河川構造が概ね単純な3面護岸となっており、魚類及び底生動物は砂利や砂などの堆積物や寄り州、廃棄物や、構造物のすき間などを隠れ場(生息場)として利用していました。白子川や石神井川は大水の時に、急激な増水により河道が洗われてしまうため、大半の魚類や底生動物の逃げ場がなくなり、下流に押し流されてしまいます。そのため、久保田橋付近に設置されている植生ブロックやブロックのすき間、各地点にも大小さまざまではあるが存在している寄り州など、生物が逃げ場・隠れ場として利用できる環境がより増加することが望まれます。

5. 問合せ

環境課環境調査係

〒173-8501 板橋区板橋2-66-1 北館7階13番窓口

電話:3579-2593 Eメール:s-chosa@city.itabashi.tokyo.jp

※区ホームページでは詳しい報告書を公開しています。ぜひご覧ください。